

平成24年度 明舞まちづくり委員会 報告

日時 平成25年3月7日(木)15時30分～17時30分(於:明舞プラザ2階 中ホール)
事務局 兵庫県県土整備部住宅建築局住宅政策課

明舞団地の再生について情報交換や意見交換を行う「明舞まちづくり委員会」を開催しました。

明舞センター地区再生事業について

旧西広場に建設された新施設(複合商業施設)「コムボックス明舞」の開業について、事業者から報告がありました。また、今後の計画について、兵庫県住宅供給公社から説明がありました。平成25年度に「松が丘ビル」、平成26年度に「明舞プラザ」の改修工事を予定していること、その工事概要についての説明がありました。「西駐車場」については、今後、駐車場としての利用を停止し、生活利便施設(商業施設)を誘致予定であることの説明がありました。

コミュニティ再生事業の取組について

最初に平成24年度の取組概要について、県から報告がありました。そして、個々の取組について、県立淡路景観園芸学校から「住民手作り野菜の産直市」、神戸学院大学から「福祉のまちづくり点検事業」、県営明舞南鉄筋自治会から「学生シェアハウスに係る取組」、県立大学地域創造機構から「駄菓子屋からのまちづくり」について、取組概要や今後の展開等の説明がありました。様々な主体との協働による取組の結果、徐々にではありますがコミュニティ再生の機運が高まっていると感じました。最後に来年度予定している取組概要について、県から説明がありました。

明舞「安心地区」の取組について

明舞安心地区推進事業の取組について、明舞安心地区推進協議会から報告がありました。最初に、住民参加型の在宅福祉活動を拡充していく事業であることが説明されました。また、事業を推進していくため、昨年10月に新たに明舞安心地区推進協議会が設立され、事務局を「スプリングテラス明舞」1階の地域交流スペースに事務局機能が配置されたことが説明されました。今後は、各部会が連携し、地域やNPOが中心となって、地域のニーズをつかみながら活動を行っていくこと、ボランティアの掘り起こしを行いボランティアメンバーの活力も活用していくことが重要であるとのお話しでした。

明舞まちづくり広場の取組について

明舞まちづくり広場の取組について、明舞まちづくりサポーター会議から報告がありました。サポーター会議が主体となって実施している行事やこれまでの取組をまとめた冊子の紹介がありました。今後は、活動の自立化、地域や大学との連携を更に深めていくことが重要であるとのお話しでした。次に、明舞お助け隊の取組について、神戸まちづくり研究所から報告がありました。個々の取組概要やその実績が説明されました。若者(学生ボランティア)の参加は、お客の評判がよいとのことで、今後は、大学や地域との連携を更に図り、活動参加者を増やしていきたいとのお話しでした。

その他

「第3回明舞スプリングコンサートの開催」について、ひまわり会から情報提供がありました。また、意見交換では、住宅に係る取組についての意見もいただきました。

今回の委員会でも、多様な主体がそれぞれの立場で団地再生に取り組み、その情報を共有すること、また意見交換することで、まちづくりへの関心や意識を高めることができました。

